

**農場だより**  
**2021年度**  
**4・5月号**

# 果樹 マンゴーの花が満開！

昨年8月に収穫を終えすぐに剪定を行ったことが良かったのか今年は、結構たくさんの花がつけました。



冬の期間は、最低温度を6℃に設定して、3月上旬には最低温度を20℃になるように少しずつ上げていきます。低温にさらされることで花芽分化が促進されます。温室での栽培は、温度管理が非常に大切になります。

**4月6日**

# 果樹 日本ミツバチ投入！

花が満開を迎える前には、ハチではなくハエを3回に分けて200匹ずつ投入していました。今は、満開を迎えハチの力を借りて受粉作業を行っています。



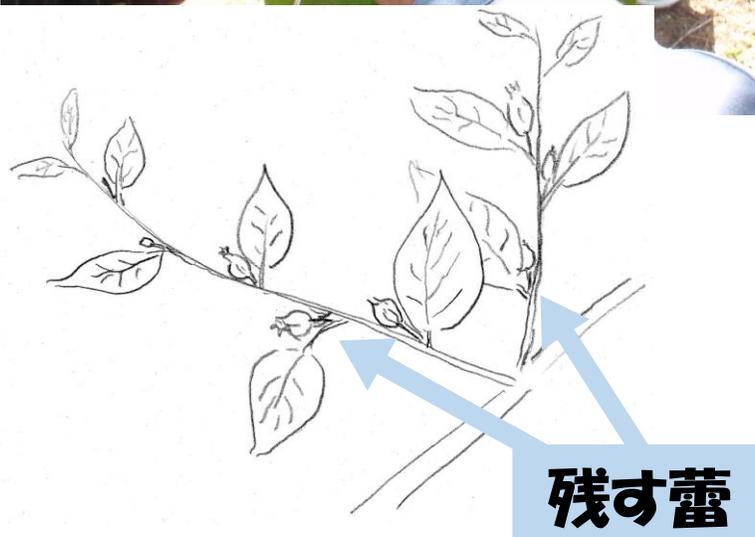
昨年も紹介しましたが、ミツバチには、西洋ミツバチと日本ミツバチがあります。本校で使用しているのは、日本ミツバチです。おしりが黒いのが特徴です。  
うまく受粉してくれればいいのですが！

**4月6日**

# 果樹

## カキの摘蕾

### 摘蕾の説明



この時期は果樹の蕾が花へと展開していく時期で、カキもちょうど蕾が大きくなってきます。このタイミングでカキの摘蕾を行わないと蕾が堅くなって処理が難しくなります。農業の授業では、リアルタイムで変化する植物に合わせた授業を行うのがポイントとなります。

4月20日

# 課題研究 ミカンの剪定枝を使った堆肥が完成

昨年度先輩が取り組んだ課題研究のテーマの1つに「ミカンの剪定枝を使った堆肥作り」があります。粉碎した剪定枝と鶏糞・米ぬかを混ぜて作った堆肥を袋に詰めて、夏肥として畑に戻していきたいと思います。今年も作るぞ！



ミミズも一緒に袋に詰めました。肥沃な土です。

**4月30日**

# カルチャー園芸

今年も新しく入学した1年生にトウモロコシを定植してもらいました。授業の様子をご覧ください。



5月8日

# 果樹

## ブドウのジベレリン処理の実習

1回目の処理は種なしにするため



①ブドウの房を



②食紅で染めた  
ジベレリン液に  
浸して



③1回目の処理  
が完成。  
2回目は2週間  
後に処理

5月6日

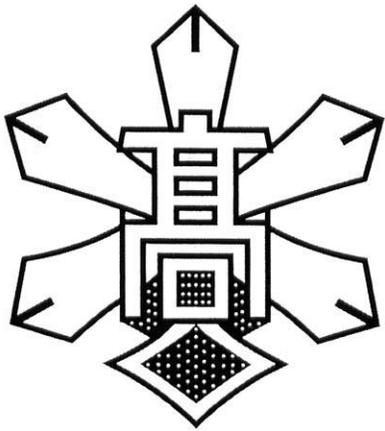
# 販売 わかやま駅前マルシェ

農業教育一貫プロジェクトが始動！県内4校の農業高校が集まり和歌山駅西口にて農産物の販売実習を行った。本校は、体育祭と重なり、生徒の参加はありませんでした。



教育長が来られ激励の言葉を頂きました。

**5月28日**



# 有田中央高等学校

本校は、農業系列を設置する総合学科の学校です。

## わかやま駅前マルシェ販売農産物の紹介



トマト(アイコ) 250g 200円  
新タマネギ(ターボ) 2個 100円  
赤タマネギ(猩々赤) 2個 100円  
新ジャガイモ(男爵) 1.1kg 200円  
新ジャガイモ(キタアカリ) 1.1kg 200円

### 加工品

七味 450円  
3色スパイス 350円  
3色スパイス+塩 350円  
コクうま 350円



[トップページに戻る](#)